

会 議 録

1 会議名

第8回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告（公開）

(1)会長報告

- ・小さなプレ・カフェ（喫茶店）開催結果について
- ・「大・浦・安」地域協議会委員研修会の開催結果について

(2)委員報告

- ・中学生との意見交換会について
- ・令和5年度第3回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について

(3)市からの報告

- ・3区中学校統合の進捗状況について
- ・令和5年度冬期道路交通確保除雪計画について

○協議（公開）

- ・自主的審議事項の検討について

○その他（公開）

- ・各区（吉川・保倉）における「地域活性化の方向性」

3 開催日時

令和5年11月17日（金）午後6時30分から7時39分まで

4 開催場所

浦川原里山地域活性化センター 多目的室

5 傍聴人の数

15人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：相澤誠一、池田幸博副会長、小野正広、春日清美、北澤誠、杉田和久、藤田宏
 稔会長、宮川勇、村松進副会長
- ・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、佐々木次長、建設グループ大島グループ長、加

藤班長、教育・文化グループ西山グループ長、総務・地域振興グループ北澤班長、高原主任

8 発言の内容

【村松副会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者9人。欠席者は赤川義男委員、北澤正彦委員、五井野利一委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：村松進副会長に依頼。

【村松副会長】

藤田会長の到着が遅れているため、私の方で会議を進めさせていただく。

それでは、次第に沿って進めるが、「2 報告」の「(1)会長報告」は会長が来てから報告することとし、先に私から、「(2)委員報告」のうち、「中学生との意見交換会」について報告させていただく。

1 1月7日、地域協議会委員と浦川原中学校の1年生22人で現地学習を実施した。「浦川原区のいいとこさがし」ということで、飯室神楽、月影雅楽、保倉川太鼓の3団体に伺って、見学や体験などを行った。

飯室神楽については、石動神社で保存会の方から説明を受け、神楽を舞っていただいた。内容としては昨年と同様であるが、昨年以上に真剣に教えていただいたと思っている。中学生も一生懸命に見て、聞いて、お面を付けたり、太鼓や笛を演奏したりして、良い実習となったと感じている。また、団体側からは後継者不足などの課題も聞かれたところである。

続いて、月影雅楽と保倉川太鼓について、月影雅楽は浦川原コミュニティプラザで練習しており、それぞれ場所が近いということもあり、2班に分かれて体験学習を行った。

月影雅楽は、最初に代表者から演奏していただいた後、3組に分かれて、それぞれ笙、^{りゅうてき}竜笛、^{ひちりき}篳篥の演奏を体験した。

保倉川太鼓についても、五井野さんから「斜め打ちはやりにくいですが、正面打ちよりも格好がいいのでやっている」というような話を聞きながら、生徒に太鼓をたたいてもらうなどの体験をした。

地域協議会委員と中学生との現地学習は、昨年も良かったが、今年は昨年以上に各団体から協力いただき、中学生からも一生懸命質問が出され、非常に良い学習会となったと感じているところである。

今後は、来年1月頃に中学校でワークショップを実施したいと考えているので、皆さんの協力をお願いしたい。

今の説明に対して、他の実行委員から補足があればお願いしたい。なければ委員の皆さんから意見、質問等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「令和5年度第3回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について」、春日委員から報告を受ける。

【春日委員】

1月6日に「令和5年度第3回浦川原区公共交通懇話会」が開催され、委員として出席したので報告させていただく。

内容は、第2次上越市総合公共交通計画における浦川原区の後期再編計画についてである。

浦川原区内では、現在「直江津・浦川原線」「高田・浦川原線」「月影・下保倉・末広ルート」「大平線」の4路線が運行されており、このうち「月影・下保倉・末広ルート」と「大平線」の2つの路線が運行形態の転換等として再編の対象になっている。「月影・下保倉・末広ルート」については、9月の地域協議会で説明があったように「予約型コミュニティバス」に転換し、区内全域を対象に運行することとなった。また、大平線については、利用が極めて少ない小谷島～大島コミュニティプラザ間を廃止し、浦川原小学校～小谷島間を運行するルートに短縮することとなった。なお、大平線は小中学生が通学で利用しているが、浦川原区内における運行便数に変更がないことから、通学への影響はないとのことであった。

市からの説明に対して、委員から「予約型コミュニティバスについて、既に運行している安塚区、牧区において利便性が向上したという評価が大きく出ているところであり、浦川原区でも導入した方が良い」との意見が出された。しかし、実際運行を担っている浦川原タクシーと東頸バスから、利用料金200円に関して値上げの要望や、運行時間の短縮などの意見が出されていた。

懇話会としては、予約型コミュニティバスの導入に当たり運行事業者と調整する部分があるものの、地域住民の利便性向上につながることから、導入することを了解した。また、大平線については、小谷島～大島コミュニティプラザ間を廃止することを確認した。

今後、他の区の再編計画とあわせて上越市地域公共交通活性化協議会において協議された後、議会への報告やパブリックコメントを経て、来年3月に総合公共交通計画の後期計画として策定する予定となっている。

【村松副会長】

今の説明について意見、質問等があれば受ける。

【小野委員】

今回、料金の話が出ていたが、事業者側から値上げのお願いがあったと理解してよいか。

【春日委員】

事業者からそういった意見があった。ただ、料金に関しては、懇話会で議論するものではないので、市と協議してほしいということである。市は要望として受けるということであった。

【村松副会長】

浦川原区では、料金が200円で決まっているわけではないと思ってよいか。

【春日委員】

当面は200円で運行されることになる。

【村松副会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

藤田会長が来られたので、ここで交代させていただく。

【藤田会長】

遅れて申し訳なかった。

それでは、次に「(1)会長報告」に入る。

私から「小さなプレ・カフェ（喫茶店）の開催結果について」報告させていただく。先日、「小さなプレ・カフェ」を実施した。平成27年に北陸新幹線が開通し、特急はくたかが廃止されたため、ほくほく線の収入が激減した経緯があるが、現在は135億円の預貯金を崩しながら運行されている。

先人たちが100年かけて実現した鉄路について、重要性を行政側にも認識していただきたいという願いがある。この駅舎を活用したイベントで赤字を埋めることはできないが、鉄路の必要性を認識していただきたいという思いで実施したもの。来年度の予算化の前段階として「小さなプレ・カフェ」を開催し、地元の方々から出演していただき、成功裏に終わったところである。約50人の参加があり、一部の方は電車を利用して来ていただいた。

このイベントは報道されたため、皆さんもご承知だと思う。機会があれば、細かな話をお話するので、本日は報告とさせていただく。

続いて、「『大・浦・安』地域協議会委員研修会の開催結果について」報告する。この研修会は毎年輪番制で開催しており、今回は浦川原区地域協議会が担当した。テーマは、皆さ

んと協議しながら「空き家の利活用の問題」としたところである。

事前に、長野県信濃町のNPO法人ざいごうへ正副会長で伺い、これまで信濃町で実施してきた空き家対策についてお話をお聞きした。ざいごうのリーダーをされている方は清里区の出身で、上越市ともかかわりがあり、約2時間、親しくお話をさせていただいた。

研修会は一般公開としたため、本日、傍聴にお越しの皆さんの中にはお出でいただいた方もいるかもしれない。要は、住む人、受ける方の線引きをきちんとすること、言うことははっきりと言って納得して来ていただくこと、また、事前に体験してもらうことなどが大事であるという話であった。

上越市では、行政主導で建築家や法律家などの関係者が一堂に会し、空き家の設備や土木建築などの専門的な議論をする形はできているが、実際には動いていないというのが現実だと思っている。この「ざいごう」という組織は、理事長が指導され、実際に移住された方々のリーダーとなっている。

たくさんお話をお聞きしたが、誰かがその地域でリーダーシップをとっていかなければ成り立たないという思いがある。行政だけではなく我々民間がこの部分を補っていくこと。また、一人では何もできないので、いろいろなノウハウを持った組織と組みながら進めていくことが大事であるということ。大浦安の地域協議会の皆さんにとって大変参考になったと思っており、成功裏に終わったと感じている。

続いて「(3)市からの報告」で「3区中学校統合の進捗状況について」、教育・文化グループ西山グループ長から説明を受ける。

【教育・文化グループ西山グループ長】

3区の中学校の統合に伴い、大島中学校では10月14日、浦川原中学校では10月28日、安塚中学校では11月11日に、閉校記念式典や思い出を語る会などがそれぞれ開催された。浦川原中学校の閉校記念事業では、宮川実行委員長を始め、多くの方々からご尽力いただいた。感謝申し上げます。

前回の第7回地域協議会以降に開催された、3区中学校統合実行委員会の第8回全体会議及び第8回校名・校歌・校章部会について報告する。

全体会議では、PTA部会と後援会部会から報告を受けた。

PTA部会からは、9月27日に部会を開催し、上履きの色について、全学年で白に藍色のラインが入ったデザインで統一することになったと報告があった。

後援会部会からは、東頸中学校の後援会の会則に関し、会の名称や会員、会費の徴収、役員の選出方法など、今後、町内会長連絡協議会へ説明するための資料について承認を得た。

東頸中学校の上履きが決定したため、既に決定している制服、体操着と併せて児童の採寸を行う予定である。11月29日に安塚区と大島区、12月1日に浦川原区のそれぞれの小学校において新中学1年生となる現6年生を対象に採寸を行い、3月の卒業式には新しい制服等で出席できるよう準備を進めていく。

続いて、全体会議の後に校名・校歌・校章部会が開催され、東頸中学校の校歌について協議を行った。

9月7日に作曲者である今成満先生と意見交換を行った後、10月に中学生とその保護者が試作の校歌を聴いてからいただいた意見と、部会の委員から出された意見を併せて今成先生へお伝えし、先生から、それぞれの意見を踏まえ、全体会議で最終案が提案された。会議では、生徒と保護者、委員の意見に対する今成先生の回答を報告するとともに、実際の音源を試聴して最終確認を行い、校歌を決定した。

決定した校歌は、今月全戸配布する「中学校統合実行委員会だより第7号」に歌詞を掲載しており、二次元コードを読み込むことで音源を試聴できるようになっている。

今日は東頸中学校の校歌の音源を用意したので、皆さんに聴いていただきたい。

(東頸中学校校歌を試聴)

2番までの構成となっていて、聴いていただいた声は、ボーカロイドという機械的な音声で歌われている。今後、早い段階で楽譜と音源を各中学校へ渡して生徒が練習し、4月12日開催の開校式で生徒の生歌で披露する予定である。

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等あれば受ける。

校歌は一度聞いただけではなじまないと思うので、歌い込んでいくことが大事であると思っている。宮川委員から実行委員長を務めていただいているが、補足等があれば願います。

【宮川委員】

後援会の役員については、3月末までに各町内会長連絡協議会において役員を選出することになっている。

【藤田会長】

他にないか。

(会場内から「なし」の声)

続いて、「令和5年度冬期道路交通確保除雪計画について」建設グループ大島グループ長から説明を受ける。

【建設グループ大島グループ長】

上越市では12月1日から翌年の3月31日までの間、上越市除雪対策本部を設置し除雪体制に入るため、令和5年度冬期道路交通確保除雪計画について説明する。

(別冊資料に沿って説明)

【藤田会長】

今の説明について意見、質問等があれば受ける。

【北澤誠委員】

令和5年度冬期道路確保除雪計画書の17ページ、「8. 雪関係の支援制度」の「8-1 小型除雪機購入費補助金」と「8-2 市道除雪作業報償金」について、浦川原区において該当する事例はあったのか。また、町内会等から申請はあったのか。

【建設グループ大島グループ長】

小型除雪機購入費補助金について、浦川原区での申請はなかった。また、市道除雪作業報償金は今年度創設された制度であるが、まだ区内からの申請はない。

【北澤誠委員】

了解した。

【藤田会長】

他に何かないか。

【相澤委員】

令和3年の大雪では除雪車で使用する軽油が全くなかった。去年は、平年並みの積雪でトラブルはあまりなかったと記憶しているが、いざという時の備蓄計画についてお聞きしたい。また、令和3年は夕方まで除雪車が来ない、あるいは1日中除雪車が来なかったことがあったが、そういう場合は総合事務所へ連絡すればよいのか、業者へ連絡すればよいのか、非常に迷う部分があるので、どう対応すればいいかお聞きしたい。

【建設グループ大島グループ長】

燃料については、除雪業者へアンケートを取りながら打合せをし、十分な燃料の確保をお願いしている。また、除雪についての問合せは、まずは浦川原区総合事務所へ連絡いただければ、我々建設グループへつながるようになっている。

【相澤委員】

了解した。

できれば燃料の備蓄計画については業者任せではなく、市でも先導していただくよう考えていただきたい。

【藤田会長】

市としての備蓄の話も出ているが、その辺はどうなのか。

【建設グループ大島グループ長】

燃料の件について補足させていただく。

警報等が発令されるような大雪が見込まれる際には、市の石油協同組合に事前に配送を要請することとなっており、降雪状況によって対応していくこととしている。

【相澤委員】

令和3年の時は国道253号が通行止めになったため、それが機能しなかったと理解してよろしいか。

【建設グループ大島グループ長】

そうである。

【藤田会長】

他に何かないか。

【村松副会長】

計画書5ページの除雪出動判断基準表の中で、1種路線から3種路線は早朝除雪が10cm以上、日中除雪、夜間除雪で15cm以上とあるが、夜勤で出かける人や帰ってくる人は、例えば夜間に30cm、40cmも降れば、埋まってしまって帰ってこれられないような状況が想定される。夜間除雪は24時までとなっているが、そういう場合はどこへ連絡すればいいのか。「車等は放置するな」と書かれているが、そうせざるを得なくなった場合どうすればいいのか。

もう一点、車道除雪は10cm以上であるが、歩道除雪は日中15cmとなっている。昨年も状況を見ていたが、小さな子どもたちは15cm積もると歩くことが難しくなり、車道を歩くしかなくなる。毎回、除雪計画では15cmと記載されているが、なぜこの基準にしているのか教えていただきたい。

【建設グループ大島グループ長】

夜間除雪については、予報等を確認しながら、大雪が見込まれる場合には除雪業者との連絡を密にし、30cmくらい降る予報であれば除雪体制に入り、車が立ち往生しないようにしていきたいと思っている。また、そうなった時は総合事務所へ連絡をいただきたい。

【村松副会長】

総合事務所へ連絡して、業者へは連絡しなくてよいか。

【建設グループ大島グループ長】

そうである。歩道除雪は早朝除雪では10cm、日中除雪では15cmと記載しているが、業

者が現地の雪の降り方を確認し、歩道除雪が必要と判断した場合は、15cmに満たない場合でも除雪を実施するよう指導していきたい。

【村松副会長】

15cm以内でも子どもたちの下校に支障がある場合は、総合事務所へ連絡すればよいという認識で良いか。

【建設グループ大島グループ長】

連絡していただければ、現地を確認し、除雪が必要であれば出動するようにしていきたい。

【藤田会長】

他にないか。

【杉田委員】

除雪時における道路パトロール、道路状況の把握、降雪状況の把握などどのように行っているのか。それぞれ路線の委託業者任せなのか。

【建設グループ大島グループ長】

前日に業者へ降雪予報がメールで通知されるので、各業者はおおむね12時くらいまでに適切なポイントで測定し、10cm以上の積雪があれば市へ報告して除雪作業を行うことになっている。

【杉田委員】

10cm以上の降雪が見込まれる場合、モニターのようなものを設置して行うのか。

【建設グループ大島グループ長】

モニターで確認するのではなく、業者が現地へ行って積雪深を測り、10cm以上であれば市へ報告して除雪車が出動することになる。

【杉田委員】

現地で定点観測をするということか。

【建設グループ大島グループ長】

測定するポイントが決まっているので、積雪10cm以上であれば、除雪車が出動する。

【杉田委員】

了解した。

【藤田会長】

他にないか。

なければ、次に「3 協議」に入る。「自主的審議事項の検討について」、Aグループの進捗状況と次回のグループワークの日程についてお話いただきたい。

【池田副会長】

Aグループでは浦川原区における文化の伝承をテーマに、長らくグループワークを重ねてきた。11月8日に第16回グループワークを開催し、今までの協議結果の情報共有と最終的な取りまとめを行うための協議を行った。その結果、書面でまとめることとなり、現在担当を決めて取りまとめに入っているため、今後のグループワークで確認しながら地域協議会へ報告させていただく。

【藤田会長】

傍聴の皆さんもおられるため、「自主的審議事項」についてお話させていただく。浦川原区において、どんなことが地域の皆さんの役に立つのか、また、地域の発展につながるのかということで、A・Bグループの2班に分かれて活動しており、今、Aグループの状況について説明した。また、Bグループについては、先ほど申し上げたとおり、ほくほく線の既存路線をなくさないためにどうすれば良いかを検討するとともに、北越急行株式会社のネットショップを活用して、例えば山菜やぶどうなどの地域の特産品を、NPO法人夢あふれるまち浦川原が中心となり、季節ごとに限定的に出荷することにより、皆さんの手元に現金が直接入るような形の事業を進めている。これについては、来年3月までに住民の皆さんに向けてお願いのチラシの配布や戸別訪問をして協力を要請していきたいと考えている。山菜などを採ってくる高齢者の方たちから「少しでも小遣い稼ぎになればありがたい」という話もお聞きしており、お役に立てればと思っている。

これがBグループの活動内容である。ただ、Bグループについては結論が既に出ているため、自主的審議としては終了していて、現在は実行段階となっている。

今の説明について質問、意見等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

続いて「4 その他」に入る。「各区(吉川・保倉)における『地域活性化の方向性』」について情報提供されているので、それぞれ確認していただきたい。

続いて、来年4月の地域協議会委員の改選に伴い、全区において今期の地域協議会の活動を地域の皆さんへ報告することとなっている。浦川原区では来年2月23日(金・祝)か、25日(日)のいずれかの日程で、時間は午後1時30分から開催したいと考えている。事前に広報上越で全区の日程を周知するため、日程を本日決めたいと思っている。仕事の関係もあると思うが、委員の皆さんの都合はいかがか。どちらでもよろしいか。

(会場内から「はい」の声)

それでは、2月23日(金・祝)の午後1時30分からの開催とする。

続いて、次回の会議日程について、12月22日（金）午後6時から浦川原コミュニティプラザの市民活動室4・5で開催する予定である。皆さんよろしいか。

（会場内から「はい」の声）

それでは、これで第8回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：025-599-2301（内線305）

E-mail：uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。